

食

農

ひとくち情報

2025年
7月号
東北農政局むら
ディスカバー農山漁村の宝AWARD

第12回選定エントリー募集！【募集期間：8月12日（火）まで】

ディスカバー農山漁村の宝とは？

「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の地域資源を活用した、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

平成26年から実施し、令和6年までに345の優良事例を選定しております。



第11回選定地区 ひろさき援農プロジェクト

選定の対象となる取組 – 下記のいずれかに該当するもの –

- ① 美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承する取組
- ② 幅広い分野・地域との連携により農林水産業や農山漁村を再生する取組
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業を実現する取組



優良事例の選定 – 団体部門・個人部門 –

30地区（者）程度を優良事例として選定し、その中から部門ごとに以下の賞を表彰。
「優秀賞」（ビジネス・イノベーション部門、コミュニティ・地産地消部門、個人部門）。
部門を問わず、選定された中から最も優れた取組を「グランプリ」、分野ごとに先鋭的な取組に対して「特別賞」を選定し表彰。

また、全国選定されなかった優良地区から「東北農政局ディスカバー農山漁村（むら）の宝」を選定。併せて今後活躍が期待できる取組を奨励賞として選定。

選定地区に対する取組

選定結果は、特設Webサイトで公表するとともに、公表後に開催する認定証授与式で認定証を授与し（令和6年度は都内「三田共用会議所」で開催）、交流会に招待する予定です。

また、選定された地区に対しては、特設Webサイト等で活動を紹介するほか、PR動画の制作、メディア媒体での記事掲載など、全国へ幅広く発信しています。



第11回受賞者の皆様



第11回認定証授与式



PR動画（第11回選定グランプリ）



第11回優良事例集

※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」の詳細は、二次元バーコードからWebサイトをご覧ください。
<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>（外部リンク）

上記紙面の問合せ先：東北農政局 農村振興部 農村計画課 022-263-1111（内線4125）



地域からの便り



各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。

江戸時代からの伝統の味を今に伝える「檜山納豆」

～秋田県・能代市～（2025年3月5日掲載）

能代市の東、檜山地域に伝わる「檜山納豆」。「元祖檜山納豆株式会社（西村省一代表）」では、自然乾燥にこだわった国産の稲わらをひとつひとつ手づくりで舟形にした「檜山納豆わらづと」を用いて、「あきた白神大豆（品種名：リュウホウ）」100%にこだわり、伝統製法を守り昔ながらの味を今に伝えています。



熟練の技でひとつひとつ手作り



「いちずに、かじつ」～山形県～

やまがたフルーツ150周年記念事業（2025年6月20日掲載）

山形県にさくらんぼや西洋なしなどの苗木が植えられてから、2025年（令和7年）で150年目の記念すべき節目の年「やまがたフルーツ150周年」を迎えます。6月6日～7日には、山形県さくらんぼ&フルーツPR協議会による「さくらんぼメモリアルフェスタ」が山形県郷土館「文翔館」で開催されました。やまがたフルーツ150周年を盛り上げる記念事業は今後もまだまだ続きます！



式典では、園児から応援メッセージが贈られました



左：果実を七宝模様に見立てたロゴマーク

eaTOHOKU Library（イーとうほくライブラリー） ～サステナブルな花の取組～

6月4日～29日、加美町中新田図書館展示ホールにおいて「eaTOHOKU Libraryサステナブルな花の取組」をテーマに展示を実施しました。ドライフラワーや環境にやさしい花の包材と古い色紙で折ったクラフトフラワーを配置した宮城県の地図などを展示しました。

期間中に、近隣の小学校低学年約30名を対象におはなし会「ころころまるとさがすちきゅうにいいこと」を開催し、環境にやさしい取組について理解を深めました。



【問い合わせ先】

消費・安全部 消費生活課：022-263-1111（内線4317、4318）

東北の魅力を世界に発信！



大阪・関西万博に出展 ～東北の農畜産物をPR～

6月13～15日、大阪・関西万博において開催された「東北四季の彩り&東北絆まつり」に、東北農政局が出展しました。東北の農畜産物の試飲試食、パネル展示、アンケートやクイズとPR動画の放映を通して、来場者の方々に東北の魅力を発信してきました。



↑東北絆まつりオープニング
セレモニーテープカットの様子
（左から3人目：清野東北農政局次長）



雨の日もありましたが、3日間を通してたくさんの方が来場し、東北の農畜産物のおいしさを味わっていただきました。また、アンケートでは、「ほとんどの方が「おいしい」「また食べたい」と回答し、東北のGI産品及びGI制度等を広くPRすることができました。

ご来場ありがとうございました！

←上：東北農政局ブースの様子

下：ブース前の長蛇の列



夏休みこども見学デー



2025年8月8日（金）

仙台合同庁舎A棟 で開催します！



【問合せ先】

企画調整室 広報担当：022-263-1111（内線4500、4313）

昨年の夏休みこども見学デーの様子

◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。@MAFF_TOHOKU
<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム
 022-263-1111（内線4402、4076）



東北農政局 公式 X
アカウントはこちら

@maff_tohoku
東北農政局公式
Instagram
アカウントはこちら

